

---

# ガンダムSEED 交わった世界

カルラ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ガンダムSEED 交わつた世界

### 【NZコード】

N7696Y

### 【作者名】

カルラ

### 【あらすじ】

C・E・71 L3コロニー『ヘリオポリス』にて地球軍による新たなプロジェクト、その名も『G』計画。新型MS・5機と新型戦艦を開発させていた。だが、ある組織にこの情報は漏れていた。コードイネイターとナチュラル、2つの人類。悲しい歴史は終わりを告げない。

今此処に新たな物語、少年達をも巻き込む戦争が始まろうとしている。

この作品はガンダムW×ガンダムSEEDのクロス小説です。

なお、ガンダムのパイロット五人組は16歳設定です。

## プロローグ（前書き）

物語の序章です。

初めてですが、頑張ります（○▽×△○）

## プロローグ

ある一機のシャトルの中

？？「なあ、本当にあの情報はあつてるんだろうな？」

××「……」

？？「無視するな！！」

長いおさげ髪を揺らしながら黒い服を着た少年が言つ。

××「……、うるさい。聞こえてる……」

凍てつく瞳の少年が反論する。

？？「本当に、『3コロニー』でMS開発が行われているのかよ？」

××「ああ、間違いない。この小火は早急に消し去るぞ、『デュオ』

？？「分かってる、ヒイロ」

デュオ「あの悲しい歴史は繰り返したくねえもんなあ……」

## プロローグ（後書き）

さて、今後どうなるやうに…

## 第1話 平和な時間（前書き）

ついに主人公の1人登場つー！！

## 第1話 平和な時間

「ヨロニー・ヘリオポリス」内  
まだ、幼さの残る茶髪の日本人系の少年の肩に小型ペットロボット  
が舞い降りる。

「トライー」

少年 キラ・ヤマトは『トライ』をくれた少年を思い出す。  
「アスラン…」

緑色の瞳、年齢よりも大人びた口調。

キラもそのうちプラントに来るんだろう？

「おーい、キラ」

少年の声が聞こえる。

キラはその少年の名前を呼ぶ。

「トール、それにミリィも…」

トール・ケーニヒとその恋人ミリアリア・ハウ。同じゼミの仲間だ。

「どうしたの？」

「『どうしたの？』じゃねえよ…カトウ教授がお前を探してたぞ」

「さつと追加の課題ね」

ミニアリアがワインクしながら言つた。

「うえーーまだ、渡された課題、終わつてないのに… あの鬼教  
授」

「楽しい会話中だけどちょっとといいかい？」

「えつー？」

「聞いた」とのない声だった。

そちらを向くと、少年が2人。

1人は長いおさげ髪に黒い服を着ている。そしてもう1人は凍てつく瞳に緑色のタンクトップとジーパンを着ていた。黒い服の少年が言つ。

「お前ら、こここのゼミの学生か？」

「そうですけど…」

「ふーん、じゃあカトウ教授がどこに居るか知つてるか？」

「これも黒い服の少年だ。」

もう1人の少年は静かに会話を聞いている。

「教授なら、『モルゲンレーーテ』の方に居ると思いますけど…、何が用ですか？」

「いや、ありがとな！」

そこで彼らは踵を返し歩き出した。

「何者だ？あいつら…、見たことない顔だけど」

「ほかの口口ニーの学生かしら？」

「やつぱり、黒だったな、この口口ニー」

「ああ、念のためモルゲンレーーテの方も調べておくれ…」

「OK」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7696y/>

---

ガンダムSEED 交わった世界

2011年11月24日20時53分発行